

はじめに

本書は、「読む力 中級」を終えた学習者のための教材です。「読む力 中級」では、中級の壁を越えることが目的でした。すでにその力を身に付けた皆さんには、ぜひとも次のステップ、読みの上級者を目指してほしいと思い、本書を作成しました。

読みの上級者とは、どのような読み手でしょうか。言語的にも構造的にも難しい専門的な文章を理解できるというだけでは、十分ではありません。本書でいう上級者とは、文章の難易度に関わらず、クリティカル・リーディング(批判的読み)ができる読み手です。

クリティカル・リーディングというのは、著者の言い分を鵜呑みにせず、眉に唾を付けながら、文章をじっくり吟味しながら読むことです。批判的と聞くと、非難したり、攻撃したり、けなしたりすることのように思いがちですが、そうではありません。例えば、書かれていることは、ほんとうにそうだと言えるのだろうか、このような角度から見ればこうも考えられないだろうか、そもそも著者はどのような前提を持って書いたのだろうかなどを考えながらテキストを読むということです。つまり、書かれていることを、簡単に納得したり、信じたりしない読み手の姿勢や態度であり、さまざまな角度からテキストを検討するための思考技術の一つがクリティカル・リーディングです。

膨大な情報や知識があふれている現代、主体的にそれらを取捨選択し、自律的に問題を発見し、創造的に解決する力は、ことばの力と共に今を生きる人に必須の能力です。この能力の基礎となるのが、クリティカル・リーディングを通して鍛えられる批判的思考力です。ですから、クリティカル・リーディングは、学生ばかりでなく、ビジネスパーソンや主婦など、すべての人が身につけるべき技術だと言えるでしょう。

本書のねらいは、みなさんが自力で日本語によるクリティカル・リーディングができるようになるためのコツを身につけてもらうことにあります。そのために、各課にクリティカル・リーディングのポイントをタスクの形にして掲載しました。タスクを通して、書き手の思考の道筋を的確に追いながら、問題を探し出し、明確な問いを立て、文章を吟味しながら読む技術をぜひ、自分のものにしてください。本書が、一人ひとりのクリティカル・リーディングの力を付けることに役立てば幸いです。

2013年 神戸にて風光る海と山とを望みつつ

奥田純子
おくだ じゅんこ

目次

はじめに iii	この本の使い方 v	この本をお使いになる先生方へ xv
プロローグ	クリティカル・リーディングへの扉	1		
第1課	私のニュースの読み方	7		
	□池上彰(著)				
第2課	価値の一様性	19		
	□河合隼雄(著)				
第3課	言葉の起源をもとめて	31		
	□岡ノ谷一夫(著)				
第4課	経済学とは何か	43		
	□辻正次・八田英二(著)				
第5課	思いやり	55		
	□清ルミ(著)				
第6課	住まい方の思想	67		
	□渡辺武信(著)				
第7課	決まった道はない。ただ行き先があるのみだ	一獣医師・齊藤慶輔	79		
	□NHK「プロフェッショナル」制作班(著)				
第8課	メディアがもたらす環境変容に関する意識調査	一電車内の携帯電話使用を例にして	91		
	□石川幹人(著)				
第9課	改訂 介護概論	99		
	□小池妙子(編著)・丸山美知子 他(共著)				
第10課	ことばの構造、文化の構造	一共時的展開と通時的展開	111		
	□鈴木孝夫(著)				
第11課	観光で行きたい国はどこ	123		
	□平松貞実(著)				
第12課	化粧する脳	137		
	□茂木健一郎(著)				
チャレンジ	クリティカル・リーディングを磨こう!	149		

頭を柔らかくする複眼思考レッスン①	○○なものを探せ!	30
②	これ何に使える?	54
③	仮説をつくらう	98
④	仲間同士!?	122

この本の使い方

対象とする学習者

- 大学、専門学校等で学んでいる人、学ぼうとしている人
- アカデミックな日本語を読めるようになりたい人
- 日本語能力試験(N1)、日本留学試験に向けて読解の勉強をしたい人

この本の特徴

特徴1 ... 学習目標が見える！

- ◎各課の学習目標には[できること 1]と[できること 2]の2つがあります。

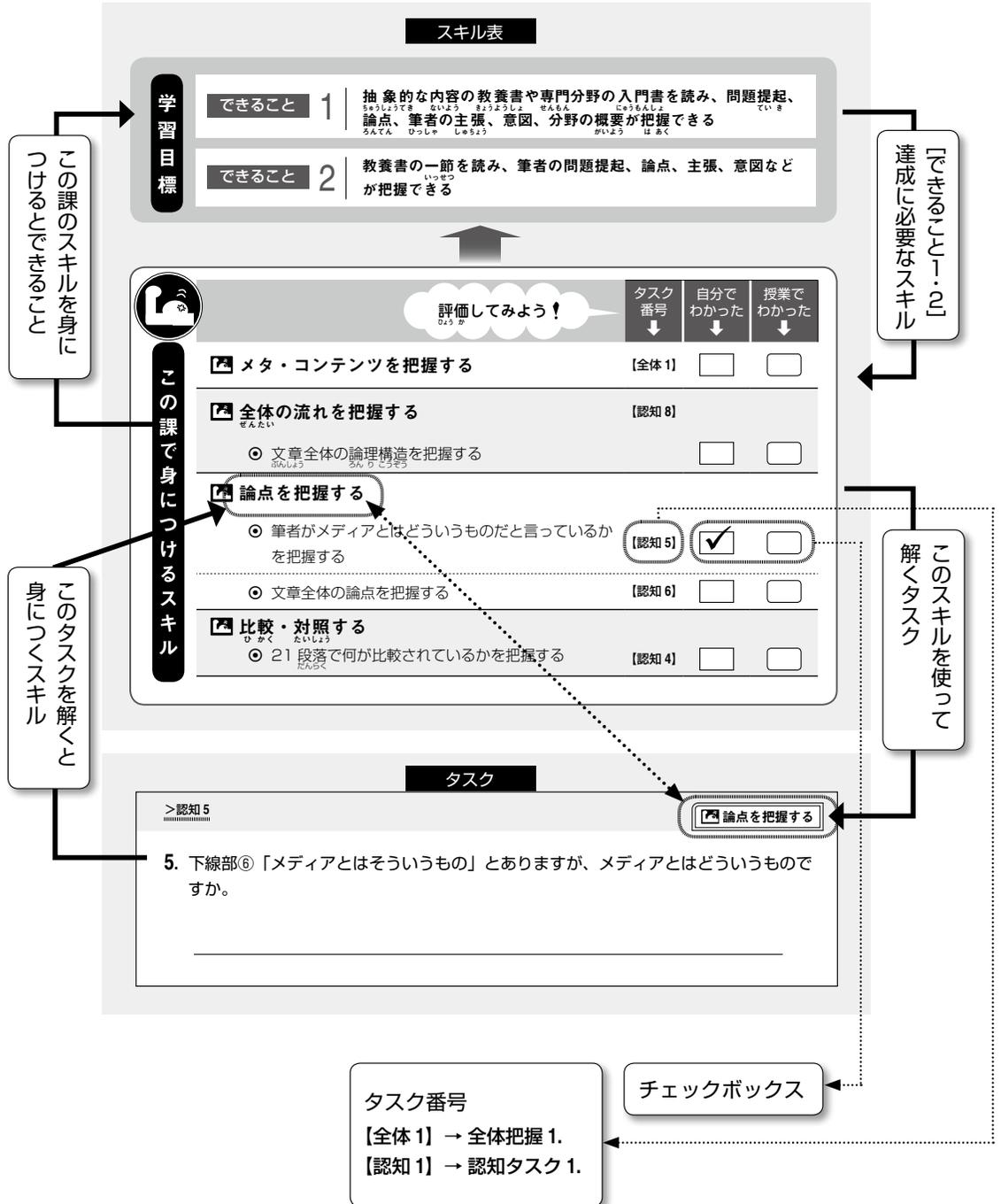
できること 1 この本で達成する大きな学習目標です。

できること 2 [できること 1]を細かく分けたのが、[できること 2]です。その課の勉強は何のためか、これを勉強することによって何ができるようになるのかわかります。

	できること 1	できること 2	
第1課～第7課	抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる	教養書の一節を読み、筆者の問題提起、論点、主張、意図などが把握できる	第1課、第2課
		教養書の一節を読み、筆者の研究の動機と仮説の概要が把握できる	第3課
		専門分野の入門書の一節を読み、その分野の概要が把握できる	第4課
		エッセイやコラムを読み、比較、対照、構造化、アナロジーを押さえながら、筆者の主張、意図が把握できる	第5課、第6課 第7課
第8課～第9課	論文の抄録、専門書の目次を目的に応じて読める	学術論文の抄録を読み、研究の概要（目的・方法・結果・考察・結論）が把握できる	第8課
		専門書の目次を読み、目的に応じて目次からその本で読むべき箇所を見つける	第9課
第10課～第12課	抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、比較、対照、構造化、アナロジーを押さえながら、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる	専門分野の入門書の一節を読み、比較、対照、構造化、アナロジーを理解し、筆者の主張、意図が把握できる	第10課
		専門分野の入門書の一節を読み、調査結果を比較、対照しながら、筆者の主張が把握できる	第11課
		教養書の一節を読み、取上げられた事象の現状、展望、原因、問題点などが把握できる	第12課

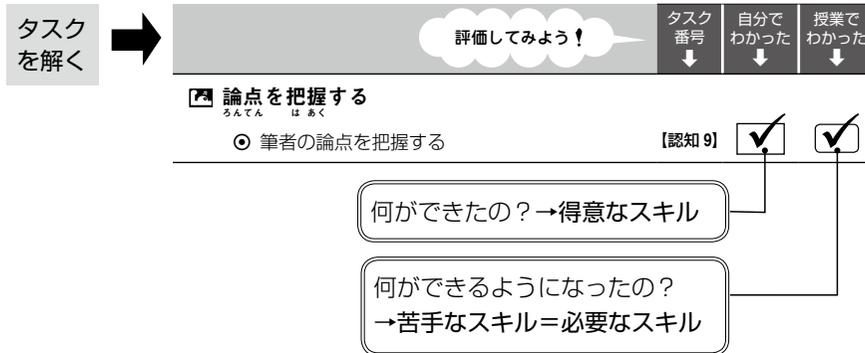
特徴2 ... 必要なスキル(技能)がはっきりわかる！

- 課のはじめに「この課で身につけるスキル(スキル表)」があります。スキルは、全体把握と認知タスクを解くことによって確認できます。「タスク(問題)」⇒「スキル(技能)」⇒「学習目標(できること)」というつながりがはっきり見えます(スキルの内容については pp.xi-xii を参照)。



●「この課で身につけるスキル(スキル表)」のチェックの仕方

タスクを解いた後、自分で「この課で身につけるスキル(スキル表)」や巻末の「スキル一覧表」にチェック✓してみてください。得意なスキル、苦手なスキル(あなたに必要なスキル)がわかります。自分の弱い部分を知って勉強すれば、読む力が確実に身につきます。



● 巻末には「スキル一覧表」があります。その課の学習を終えて、それぞれのスキルが身についたかどうかを自己評価し、チェック✓してみましよう。得意なスキル、苦手なスキル(あなたに必要なスキル)を把握して、スキル向上に役立てましよう。

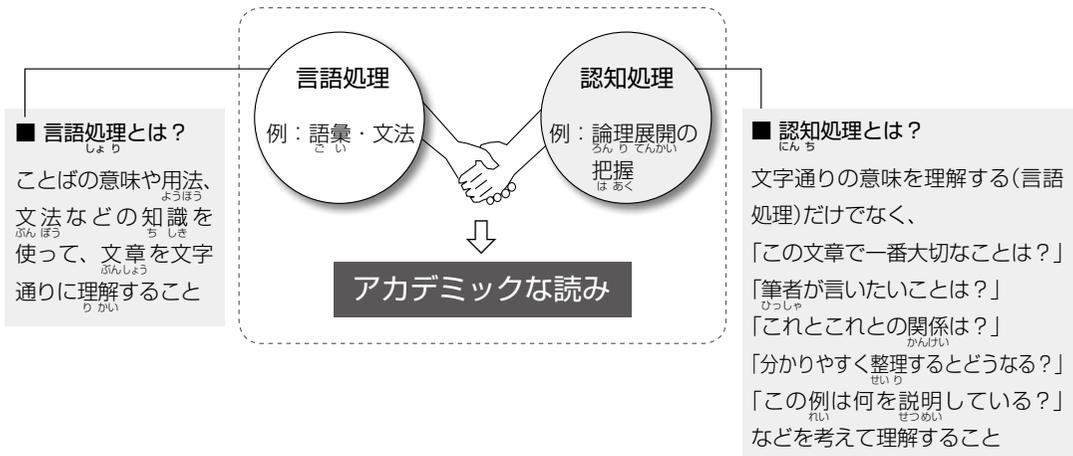
学習目標	できること①	抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる		
	できること②	教養書の一節を読み、筆者の問題提起、論点、主張、意図などが把握できる		教養書の一節を読み、筆者の研究の動機と仮説の概要が把握できる
各課詳細	課	第1課	第2課	第3課
	タイトル	私のニュースの読み方	価値の二様性	言葉の起源をもとめて
身につけるスキル	メタ・コンテンツを把握する	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	全体の流れを把握する	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	論点を把握する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	論理展開を予測・把握する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	明示的な主張・意図を把握する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	結論を把握する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	特定の情報のみを抽出する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

チェックボックス

特徴3 とくちょう

… アカデミックな読みをするための3種類のタスク しゅるい

●大学、専門学校で必要とされるアカデミックな読みとは？
せんもん ほんがく



●各課にはアカデミックな読みをするための3種類のタスク（「全体把握」「言語タスク」「認知タスク」）があります。

1. 全体把握

メタ・コンテンツ(次ページ参照)とテキストの種類を問うタスクです。テキストを読んで、そこに書かれたことはつまり何なのか、というメタ・コンテンツの形にまとめる力は、レジュメやレポートを書くときに必要です。まず、時間をかけずにサッと読んで、解いてみてください。もし、分からなかったら、「言語タスク」「認知タスク」を解いた後でもう一度考えてみてください。

2. 言語タスク

「認知タスク」を解くために必要な言語処理を問う問題なので、「認知タスク」を解く前に解いた方が効果的です。

3. 認知タスク

言語処理だけでなく、認知処理を同時に必要とするアカデミックな問題です。選択式のタスクが多いのには理由があります。試験形式に慣れるためではありません。まず、表面的でない精緻な読みを求める選択肢の検討を通じて認知処理が促されます。それから、表現にエネルギーを使わないので、読みに集中できます。さらに、的確な言語表現に豊富に触れることができ、アカデミックな表現力をつける土台になります。

メタ・コンテンツとは？

コンテンツ(内容)そのものではなく、内容をメタ(meta-)に(ひとつ上のレベルから)捉え直し、名詞句で端的にまとめたものです。要点や要約ではありません。

→ 「コンテンツ」と「メタ・コンテンツ」の違いは？

- ① 自動車が増えて、環境に大きな負荷がかかっている。このままでは美しい地球を未来に残せない。自動車の使用を大幅に制限するべきなのではないだろうか。

△ 環境のために自動車の使用を制限するべきだ。 ←コンテンツ

○ 自動車の使用に関する意見 ←メタ・コンテンツ

- ② この本を書いたのは、日本で学ぶ留学生の思いを多くの人々に知ってもらいたいと思ったからだ。慣れない土地での苦労、仲間たちとの出会い、将来への希望、そういった平凡だが貴重な声の数々をここに集めた。たくさんの人に読んでほしい。

△ この本を書いたのは、留学生の思いを人々に伝えるためだ。

←コンテンツ

○ この本を書いた理由の説明 ←メタ・コンテンツ

特徴4 ...クリティカル・リーディング(Critical Reading)の力が身につく！

各課に、クリティカル・リーディングのポイントが、タスク形式で挙げてあります。これに取り組むことで、文章を吟味しながら読む技術が身につきます。練習を重ねるうちに、クリティカル・リーディングのコツを覚え、読みの上級者に近づいていくことができます。

(詳しくは p.1 「プロローグ クリティカル・リーディングへの扉」を参照)

■ 読む前に

皆さん自身の考え方、ふるさとの文化などに関する簡単な質問や、短い文章が書かれています。これは、テキストを読む前に、そのテーマやトピックに関する皆さんの知識を引き出して、興味や関心を持ってもらうためのものです。クラスでその質問や文章について話し合い、共有しておけば、より多くの知識を持ってテキストを読むことができます。もし、皆さんがそのテーマやトピックに関してあまり知らない場合は、テキストを読むために必要な知識を得ることもできます。

■ 学習目標

この課の学習を通じて、何ができるようになるのかが、【できること1】【できること2】に書かれています(詳しくはp.vを参照)。文章を読むとき、普通は「この機械の使い方を知りたい」とか「手紙の用件を知りたい」など具体的な目的があります。この本の本文を読むときにも、「これを読み取ろう」という目的を持って読むことによって、なんとなく読むよりも読む力が格段に高まります。

■ この課で身につけるスキル(スキル表)

この課の学習目標を達成するために必要なスキルが挙げてあります。これらのスキルは、問題を解くときに使うスキルでもあります。スキルは、全体把握と認知タスクを解くことによって確認できます。この課の学習を終えたあとで、自分がそのスキルを使えるようになったか、自己評価してみてください。

スキル表のふりがなは、日本語能力試験(旧試験)の2級以上(2級、1級、級外)の漢字を使う語と、固有名詞についています(ページ初出のみ)。

スキル表の内容

<p>メタ・コンテンツを把握する <small>はあく</small> Grasp the meta-contents of the text / 掌握大意 / 掌握大意 / 주요내용을 파악한다</p>	<p>メタ・コンテンツとは、内容をメタに(ひとつ上のレベルから)捉え直し、名詞句で端的にまとめたものです。内容の要約ではありません(詳しくは、p.ixを参照)。</p>
<p>全体の流れを把握する <small>なが</small> Grasp the overall flow of meaning of the text / 掌握总体的流程 / 掌握總體的流程 / 전체의 흐름을 파악한다</p>	<p>文章全体をひとつの話として理解することです。話のつながりがわかり、段落を正しい順序に並べ替えることができます。</p>
<p>論点を把握する <small>ろんてん</small> Grasp the point of argument / 掌握论点 / 掌握論點 / 논점을 파악한다</p>	<p>論点とは、そこに書かれた主張やその根拠の核心(一番中心的なポイント)です。つまり、「要するに何が言いたいか」です。</p>
<p>論理展開を予測・把握する <small>ろんりてんかいよそく</small> Predict/understand the logical development / 预测掌握逻辑展开 / 预测掌握邏輯展開 / 논리 전개를 예측·파악한다</p>	<p>書かれたことを論理的に追い、「なぜそう言えるのか」を理解すること、論理的に考えて前後の展開や結論を推測することです。</p>
<p>明示的な主張・意図を把握する <small>めいじてき</small> Grasp the explicit assertion/intention / 掌握明确的主张·意图 / 掌握明確的主張·意圖 / 명시적인 주장·의도를 파악한다</p>	<p>文中に筆者の主張(意見)や意図(言いたいこと)がはっきり表れているときに、それが読み取れることです。</p>
<p>結論を把握する Grasp the conclusion / 掌握结论 / 掌握結論 / 결론을 파악한다</p>	<p>筆者の最終的な判断を一言でまとめるとどうなるかがわかることです。結論ははっきり書かれている場合とそうでない場合があります。あとの場合は、書かれたことをもとに推測する必要があります。</p>
<p>特定の情報のみを抽出する <small>とくていじょうほう</small> Extract specific information / 只提取特定的信息 / 只擷取特定資訊 / 특정의 정보만을 추출한다</p>	<p>必要な情報がどこに書かれているか見つけ出すことです。要らないものを捨て、必要な部分だけを取り出します。</p>
<p>比較・対照する <small>ひかくたいしやう</small> Compare/contrast / 比较·对照 / 比較·對照 / 비교·대조한다</p>	<p>「Aはこうだが、Bはこうだ」と何かを比べたテキストを理解することです。分類の視点が筆者独特の場合、何と何を対比しているのかを的確に捉えることがポイントになります。</p>
<p>原因と結果の関係を把握する <small>げんいんけつかけい</small> Grasp the relationship between cause and result / 掌握原因和结果的关系 / 掌握原因與結果的關係 / 원인과 결과의 관계를 파악한다</p>	<p>因果関係を理解することです。文中で原因と結果が離れている場合や、直接的に書かれていない場合もあります。</p>
<p>構造・法則性を把握する <small>こうぞうほうそくせい</small> Grasp the structure/principle / 掌握构造·法則性 / 掌握構造·法則性 / 구조·법칙을 파악한다</p>	<p>書かれている内容について論理的な構造や法則性(こういう場合はこうなるなど)を整理して理解することです(ここで言う「構造」は、テキストの文法的・言語的構造ではありません)。</p>
<p>何の例かを把握する <small>れい</small> Grasp what the example is for / 掌握例举的事例 / 掌握例舉的事例 / 무슨 예인지를 파악한다</p>	<p>例を挙げて何かを説明しているとき、「それが何を説明するための例なのか」を理解することです。「どんな例か」ではありません。</p>

<p>非明示的な背景・意図を推測する Speculate on the implicit background/intention / 推測非明確的背景和意図 / 推測非明確的背景和意圖 / 비명시적인 배경이나 의도를 추측한다</p>	<p>書かれたことの背景や意図が直接的ではないが推測できるように書かれている場合に、それを捉えることです。</p>
<p>複数の情報を関連付ける Relate two or more pieces of information with each other / 把复数的信息联系起来 / 把複數的資訊連結起來 / 복수의 정보를 관련 짓는다</p>	<p>書かれている複数のことが互いに関連している場合に、その関係を正しく理解し、関連するもの同士を結びつけることです。</p>
<p>アナロジー・比喩がわかる Understand the analogy/metaphor / 判明类推・比喩 / 判明類推・比喩 / 유추・비유를 알 수 있다</p>	<p>アナロジー(類推)というのは、新しい物事や考え方を説明するときに、すでに知っていることと比べてみることです。「ああ、こういうことかな」と類推してわかってもらうための説明の手法です。</p> <p>比喩は、「太陽のように明るい人」や「人生は旅だ」のように、一つのことを何か他のものに喩えることです。「人生は旅だ。計画してもその通りには行かない。だが、そこがおもしろい。」のように、喩えるものの間に共通の物語や関係や構造があるものは、比喩でもあり、同時にアナロジーでもあります。</p> <p>◇【アナロジーを使った説明の例】 「過去にこだわらずに前に進むこと」を説明するために、下線部のコップの話をも、アナロジーとして使っています。</p> <p>ときどき、これまでのやり方や過去の成功体験にこだわって、新しい方法や考え方を受け入れられない人がいる。だが、それでは進歩も成長もない。過去にこだわらずに前に進もう。コップに新しい水を入れるには、今、入っている水を捨てなければならぬのだ。</p>
<p>句・文単位での言い換えを把握する Grasp the paraphrase at phrase/sentence level / 掌握以短语・句子为单位的互换 / 掌握句子・短文為單位的其他說法 / 구・문장 단위로 대체표현을 파악한다</p>	<p>文中で同じ意味を表す複数の表現が使われているとき、それを把握することです。もとの言葉が一語でも、言い換えが句(フレーズ)や文になる場合があります。</p>
<p>スキミングする Use skimming strategy (to get the main ideas of the text) / 略読 / 粗讀 / 텍스트의 주제를 파악하기 위한 스키밍기법 사용하기</p>	<p>速読のスキルの一つで、全体をさっと読んで、概要・主旨・要点など、そこで重要な情報は何かをつかむ読み方です。何が書かれたテキストか、自分の目的に合うかをごく短時間で知りたいときに使います。</p>
<p>スキニングする Use scanning strategy (to get a specific information) / 查読 / 細讀精讀 / 특정 정보를 파악하기 위한 스캐닝기법 사용하기</p>	<p>速読のスキルの一つで、全体を見渡して、必要な特定の情報が書かれた部分を探し出す読み方です。自分が求める情報があらかじめ決まっています、それだけを把握したいときに使います。</p>
<p>抽象的記述と具体的記述を関連付ける Relate abstract descriptions with specific ones / 把抽象记述和具体记述联系起来 / 將抽象的記述與具體的記述連結起來 / 추상적 기술과 구체적 기술을 관련 짓는다</p>	<p>文中で関連のある事柄が、抽象的なレベルと具体的なレベルの両方で書かれているとき、両者を結び付けることです。たとえば、「移動手段」と「徒歩」と「電車」のような関係です。</p>

■ テキスト

テキストの種類としてはエッセイ、教養書、専門分野の入門書、目次、論文の抄録など、ジャンルとしては教育、文化、経済学、介護、言語社会学、脳科学など、大学などにおいて出会う多様なものが選ばれています。内容的には専門的なテキストを読む前段階として、一般向けの文章で認知処理が必要なものが選ばれています。全て、日本人向けに書かれた生の文章です。

ふりがなは、日本語能力試験(旧試験)の1級以上(1級と級外)の漢字を使う語と、固有名詞についています(ページ初出のみ)。それ以外で読み方のわからない語は、語彙リストで調べましょう。

■ 全体把握・言語タスク・認知タスク

「この本の特徴 特徴3(p.viii)」を参照してください。

■ クリティカル・リーディング

「プロローグ・クリティカル・リーディングへの扉(p.1)」を参照してください。タスクの右上の「関連」のマークは、互いに関連のある問いであることを示しています。

[凡 例]

(関連→CR2) = CR2番と関連があるタスク

(関連→認知4) = 認知タスク4番と関連があるタスク

● 認知タスク

> 5 段落

4. 下線部⑧は、自殺未遂した医師の例では、どこに表れていると考えられますか。テキストから抜き出さない。

非明示的な背景・意図を推測する (関連→CR2)

● クリティカル・リーディング

2. 下線部⑧の「子どもを思う親の気持ち」が自殺未遂につながったというのは、どのような論理を筆者は想定していると考えられますか。その想定は妥当だと思いますか。

(関連→認知4)

■ 複眼思考レッスン

クリティカル・リーディングに必要な思考の柔軟性を身につけ、発想をより豊かにするための頭の体操です。肩の力を抜いて楽しんでください。

■ 巻末「スキル一覧表」

巻末の「スキル一覧表」には、各課の学習目標(「できること1」「できること2」)、「この課で身につけるスキル」が一覧で示してあります。その課の学習を終えたら、身についたスキルを自己評価し、チェックを入れましょう(詳しくはp.viiを参照)。

■ 別冊「語彙リスト」

その課の語彙の英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語訳がついています。予習、復習に使ってください。

級	ことば	読み方	英語	中国語[簡体字]	中国語[繁体字]	韓国語
第4課 経済学とは何か						
2	科目	かもく	subject	科目	科目	과목
外	文科系	ぶんか・けい	liberal arts; the humanities	文科类	文科類	문과계 (열)
1	理科系	りか・けい	science	理科类	理科類	이과계 (열)
2	おそらく		probably; likely; perhaps	恐怕, 可能	恐怕・可能	아마, 필시
	手にする	てにする	to take; to pick up	得到, 到手	得到・到手	손에 들다
2	きっかけ		trigger; motive	契机	契機	계기
外◆	効用	こうよう	effect	效用	效用	효용

[凡 例]

1=日本語能力試験(旧試験)の1級の語彙、2=2級、3=3級、4=4級
 (*旧試験の1級はおよそ新試験のN1に、2級はN2に、3級はN4に、4級はN5に相当します。)

外=日本語能力試験の級外で覚えたほうがよいもの

外◆=級外の理解語彙でよいもの

○日本語能力試験3級、4級の語彙は漢字の読みが難しいものだけ載せています。

○2語以上のフレーズで載せているものは、級が書かれていません。

例：耳を傾ける

○複合語の2つの語の級が違う場合は、上の級が書かれています。

例：重なり合う⇒2級

重なる⇒2級、合う⇒3級

■ 別冊「解答例」

この本の「全体把握」「言語タスク」「認知タスク」の解答例は「正解」ではなく、解答の一例です。特に、記述式のタスクでは、答えが一つに決まらないのが普通です。解答例を参考に、読みを検討してください。

なお、この本のクリティカル・リーディングには基本的に解答例がありません。クリティカル・リーディングは自由な発想を問うものであって、「正解」はなく、考え方の可能性は無限にあるからです。パラフレーズ(自分の言葉による言い換え・再構成)にのみ解答例をつけましたが、それ以外の考え方も可能です。あくまで参考に留めてください。

この本をお使いになる先生方へ

■本書で扱うクリティカル・リーディングの範囲

本書では、「認知タスク」「クリティカル・リーディング」「クリティカル・シンキング」の区別を、以下のように考えています。

認知タスク——テキストに書かれたことから合理的な推論の範囲で確実に言えることを筆者の意図に沿って読み取るタスクです。

一般にはクリティカル・リーディングとされるものの一部(筆者の主張を問う等)も含まれます。

クリティカル・リーディング(CR)——異なる視点からの分析や推論、自分の経験や考えに照らした検討など、筆者の書いていることを無条件に受け入れるのではなく、判断を保留して吟味する視点を持ったタスクです。

一般にクリティカル・リーディングではよく、論理の妥当性・一貫性を問いますが、一貫性を欠くなど、それ自体に大きな欠陥のあるテキストは、この本では取り上げません。

クリティカル・シンキング——テキストの検討からさらに一歩進んで、発展的に自分の考えを展開し、それを口頭や記述で表現することです。この本は読みのスキルを身につけるのが主眼なので、クリティカル・シンキングの部分は重点的には扱いません。

■クリティカル・リーディングを使った活動の方法

▶全部やらなくてもOK

時間の制約、学習者やクラスの特性に依じて、適当な問いを選んでお使いください。また、たとえば、これ以外のクリティカルな問いを足したり学習者に考えてもらったりするのも面白いのではないのでしょうか。

▶使い方は自由

問いに対して学習者が考えを述べる方法としては、口頭で述べる、あるいは紙に書くなどがあるでしょう。

口頭で述べる場合は、準備なしに言ってもらう、あるいは、少し準備の時間をとり、小グループで話し合ったうえで自分の考えをまとめ、発表してもらうことも可能です。

書く場合は、2, 3行で簡単に書く方法、原稿用紙などにまとまった長さの文章を書く方法などが考えられます。

また、書いたものをクラスで共有する、他の学習者の述べたことを、たとえば、問いと整合性があるか、テキストに沿っているか、論理的に筋が通っているか、根拠は十分かといった「CRとして妥当か」という視点から検討する、といったやり方も可能です。

▶正解はない

ご承知のように、クリティカル・リーディングに正解はありません。解答例をつけると、「解答例＝正解」のような誤解を与えて読みを固定化し、テキストへの自由なアクセスを妨げる恐れがあると考え、あえて解答例をつけていません。

ある学習者の述べたことが「CRとして妥当か」を検討する際は、特に誤解が生じやすいので、学習者に再度、「正しい答え」も「間違った答え」もないことの注意を促していただければと思います。

テキストの内容を自分の言葉で再構成するパラフレーズには、自学自習の学習者の便宜を考えて解答例をつけましたが、再構成の仕方も十人十色であってよいと考えています。

▶本書のクリティカル・リーディングを使って

本書のクリティカル・リーディングは、記述や口頭表現など、発信を中心とした教室活動にも使えます。自分の考えをきちんとした形で書いたり話したりすることに主眼を置けば、クリティカル・シンキングに近づきます。

「本書の特集ページ：yomuchikara.jimdo.com」で
クリティカル・リーディングの活動例などを紹介しています。

プロローグ

クリティカル・リーディングへの扉 とびら

／ クリティカル・リーディングとは何だろうか

クリティカル・リーディング(以下CR)とは、テキストを読んで何が書かれているかを正確に理解したうえで、複眼的な視点から、その内容や構成を検討することです。「クリティカル(批判的)」といっても、欠点を探したり否定したりすることではありません。

／ クリティカル・リーディングはなぜ必要か

このような読み方は、何の役に立つのでしょうか。それは、一つの見方に囚われない柔軟な思考、つまり、クリティカル・シンキング(批判的思考)の土台を作るのに役立ちます。情報をうのみにせず、自律的な主体としてももの考える姿勢は、研究はもちろん、日常生活や仕事上のさまざまな場面で役立ちます。

／ 本書で扱うクリティカル・リーディングとは

CRの力をつけると、皆さんが生活や仕事や研究で出会う、さまざまなテキストに批判的にアクセスできるようになります。つまり、自分で自由にクリティカルな問いを立てられるようになるのです。この本ではそのための第一歩として、用意された問いに答える形で、少しずつCRに慣れていきます。ここで取り上げる問いは基本中の基本で、CRのごく一部です。しかし、これを通じて、複眼的にもものを見る、柔軟な視点が身につきます。

クリティカル・リーディングをやってみよう！

まず、一つテキストを読んでCRの具体的な問題に挑戦してみましょう。次のテキストは「行列のできる店」について書かれたエッセイです。

日本人はなぜ行列するのか

「行列のできる店」というのがある。レストランなどの前に2、30人の人が並^{なら}んでいるのだ。混んでいるなら他へ行けばよいのに、何十分もおとなしく待つ。さらに不思議なことに、いったん行列ができると、人がさらに集まってくる。

行列のできる店はそれだけ人気のある、おいしい店なのだ、という判断^{はんだん}が働^{はたら}くからだろう。けれども、海外では行列などしない。混んでいれば、さっさと他の店に行ってしまう。なぜ日本人は行列が好きなのか。それは、並ぶこと自体が特別なイベントだからだ。「この間、あの評判^{ひょうばん}の店に行ったらね、45分待ちでね。」「へえ～。で、味はどうだった？」と話題にするのが楽しいのだ。評判の店で行列を作るのは、ディズニーランドのアトラクションで並ぶのと同じなのである。

このテキストを、皆さんはどのように読みましたか。読んでみると、いろいろな疑問が湧いてきます。たとえば、次のような問題意識を持って読むのがCRです。例題を通して、CRを体験してみましょう。

例題 次の問の答えを考えてみましょう。また、その根拠も考えてみましょう。

1. 2段落で「海外では行列などしない」と断定していますが、本当にそのように言えると思いますか。

ヒント⇒事実のように書かれていても、そのまま信じるのは危険です。筆者の知る限りではそうであっても、海外事情のすべてに通じている人はあまりいないでしょう。根拠のない断定は要注意です。

2. 「なぜ日本人は行列が好きなのか」とありますが、行列ができることと、行列が好きなのは同じことでしょうか。

ヒント⇒「なぜ〇〇なのか」と言うと、その理由が気になって、つい「〇〇」の中身を検討するのを忘れがちですが、このような言い換えは要注意です。

3. 「評判の店で行列を作るのは、ディズニーランドのアトラクションで並ぶのと同じなのである」とありますが、妥当でしょうか。

ヒント⇒二つの現象が「同じだ」と言うためには、どのような点で同じが明らかにする必要があります。文中から推測できないなら、論理に飛躍があるのかもしれない。

4. 行列のできる理由について、あなたは筆者の考えに賛成ですか、反対ですか。

ヒント⇒筆者の主張を理解し、それを踏まえて自分の意見を述べます。その際、テキストから離れて、自分の経験や知識だけで意見を述べるのはCRではありません。

このように検討することは、書かれていることが間違っているとか主張が正しくないということではありません。どんなに優れたテキストでも、CRの対象になります。自律的な読み手は、問題意識を持って文章を読み、推論したり自分の経験や知識と比べたりして、テキストと対話しつつ読み進めていくものだからです。

第2課

価値の一様性

か ち

読む前に

1. あなたはどんな子が「よい子」だと思いますか。
2. あなたはどんな人生が「幸福な人生」だと思いますか。
3. ①や②は、あなたのふるさとの一般的な価値観と一致していますか。
か ち かん いっ ち

学習目標

1 できること 抽象的な内容の教養書や専門分野の入門書を読み、問題提起、論点、筆者の主張、意図、分野の概要が把握できる

2 できること 教養書の一節を読み、筆者の問題提起、論点、主張、意図などが把握できる



評価してみよう!

タスク
番号
↓

自分で
わかった
↓

授業で
わかった
↓

この課で身につけるスキル

📖 メタ・コンテンツを把握する 【全体 1】

📖 全体の流れを把握する
◎ 文章全体の流れを把握する 【認知 7】

📖 論点を把握する
◎ 何が子どもたちの「幸福」を奪っているかを把握する 【認知 2】

📖 明示的な主張・意図を把握する
◎ 筆者の主張を把握する 【認知 7】

📖 特定の情報のみを抽出する
◎ 筆者が紹介している「一様な価値観」を抽出する 【認知 6】

📖 原因と結果の関係を把握する
◎ 「優等生だった子どもが……挫折したりする」原因を把握する 【認知 5】
◎ 「一様な価値観」がどのような結果をもたらすかを把握する 【認知 7】

📖 何の例かを把握する
◎ 自殺未遂した医師の話が何の例かを把握する 【認知 3】

📖 非明示的な背景・意図を推測する
◎ 「幸福を願う親の気持ち」が医師のエピソードで何に当たるかを推測する 【認知 4】

📖 句・文単位での言い換えを把握する
◎ 「少しでもよい点を～「よい子」なのである」=「 ? 」 【認知 1】

価値の一様性

かち

河合隼雄(著) (『子どもと学校』岩波新書 1992)
かわいぼる

価値の多様性ということが、最近よく言われるようになった。①生き方が多様になっただけ、価値観の方も多様になってきた、というのであるが、果してそうだろうか。

②教育の「実状」を考えてみると、日本人すべてが、「勉強のできる子はえらい」という、一様な価値観に染まってしまっている、と言えないだろうか。親は子どもの点数のみ、序列のみを評価の対象にする。③少しでもよい点をとってきて、少しでも上位に位する子は「よい子」なのである。教師も親ほどではないにしても、それに近いであろう。

このような考えの根本には、「よい大学」を卒業し、④「よいところ」に就職すると幸福になる、という考えがある。しかも困ったことに、「よい大学」というのが、ほとんど⑤一様にランクづけされている、という事実がある。子どもの個性に従って大学を選ぶのではなく、その成績によって適当なところを選ぶ、という考え方である。

なぜこのような一様性が生じるかについては後に論じるが、⑥このことがどれほど子どもたちの「幸福」を奪っているかについて、よく考えてみる必要がある。親は子どもの幸福を願うと言いつつ、それを壊すことを平気でしているのだ。教師も多く⑦それに加担している。

某一流大学の医学部を卒業し、医師になってすぐに自殺未遂をした人があった。その人は小さい頃から家庭教師を—多いときには五人も—つけられ、常により成績をとり続け、「最高」と思われる大学を卒業した。しかし、医師として仕事をはじめると、対患者、対看護婦、などの関係がまったくうまくゆかず、悲観してしまって死のうと思ったと言う。このような例に接すると、⑧子どもの幸福を願う親の気持ちが、一様な価値観に縛られているために、⑨カラまわりをしてしまっていると感じられる

のである。

- 6 また、勉強勉強と言わないにしても、日本人にほとんど一様と言っていいほどの価値観として、「⑩素直すなほなよい子」という理想像がある。これは、簡単に言ってしまえば、親や教師など目上の人の言うままに、それに従したがうことを意味している。そのようにして「よい子」の模範もはんのようにされてきた子どもが、大学に入ったとたんに、「自主的判断」をもって研究をせよ、などと言われてもできるはずがない。⑪優等生ゆうとうせいだった子どもが、大学に入学してすぐ挫折きせつしたりするのには、このような例がある。これも、一様な価値観の犠牲者ぎせいと言っていいだろう。
- 7 日本人にとって、多様性ということは、いったいどう理解されているのだろうか。

■ 全体把握 ■

 メタ・コンテンツを把握する

1. この文章のメタ・コンテンツは何ですか。()に適切な言葉を書きなさい。また、{ }の中の適当なものを選びなさい。

一様な()に縛られた現代の{a. 教育 b. 科学 c. 文化 d. 芸術}の()
に対する{a. 提言_{ていげん} b. 報道記事 c. 問題提起_{ていぎ} d. 分析データ_{ぶんせき}}

2. 文章の種類は何ですか。適当なものを選びなさい。

a. 論文 b. エッセイ c. 新聞記事 d. 小説

■ 言語タスク ■

> 1 段落

1. 下線部①は、つまりどういうことですか。もっとも近いものを選びなさい。
- 生き方が多様になってきただけで価値観は多様になっていない
 - 生き方も価値観も多様になっていない
 - 生き方が多様になってきたのと同じくらい価値観も多様になってきた
 - 生き方が多様になってきたことと価値観が多様になってきたことは関係ない

> 1 段落

2. 下線部①は、誰の見方ですか。
- 筆者
 - 専門家
 - 親と子ども
 - 社会一般

> 2段落

3. 下線部②の内容と合っているものを選びなさい。

- a. 親も教師も程度の差はあっても多様な価値観を持っている
- b. 親は一様な価値観、教師は多様な価値観を持っている
- c. 親は多様な価値観、教師は一様な価値観を持っている
- d. 親も教師も程度の差はあっても一様な価値観を持っている

> 2～3段落

4. 下線部⑤は、具体的にどういうことですか。適当なものを選びなさい。

- a. 順位は関係なく、一人一人の個性にぴったりの大学がある
- b. 入学試験の難易度だけで、高いほうから順位がつけてある
- c. 設備、教育の質、難易度など項目ごとに順位がつけてある
- d. 設備、教育の質、難易度などを総合して順位がつけてある

> 3段落

5. 親たちは「よい大学」とはどういう大学と考えていますか。下線部に入る言葉をテキストから抜き出しなさい。

上位に_____大学

> 3段落

6. 下線部④は、例えば、どんなところを指しますか。適当なものを選びなさい。

- a. 高収入で社会的地位が高い就職先
- b. レベルの高い学生が行く有名な大学院
- c. 気候温暖な暮らしやすい町
- d. 物価が安く生活がらくな地方

> 4段落

7. 下線部⑦は、何を指していますか。適当なものを選びなさい。

- a. 子どもが親の願いを無視すること
- b. 子どもが親の希望を壊すこと
- c. 親が子どもの幸福を願うこと
- d. 親が子どもの幸福を奪うこと

> 5段落

8. 下線部⑨とは、具体的にどういうことですか。適当なものを選びなさい。

- a. 子どもたちの幸福につながっていない
- b. 子どもたちの幸福につながっていく
- c. 結果的に親の幸福につながっていく
- d. 子どもたちに親の気持ちが伝わらない

> 6段落

9. 下線部⑩は、どのような意味ですか。テキストの言葉を使って説明しなさい。

■ 認知タスク ■

> 2 段落

 句・文単位での言い換えを把握する

1. 下線部③をテキストの言葉を使って端的に言い換えなさい。

> 4 段落

 論点を把握する

2. 下線部⑥が指すものとして文章の内容と合わないものを選びなさい。
- a. 親たちが、子どもの教育において一様な価値観を持っていること
 - b. 親たちが、序列の高い大学や就職先ほどよいと信じていること
 - c. 親たちが、子どもの個性ではなく成績によって大学を選ぶこと
 - d. 親たちが、自分の満足のために子どもの幸福を奪っていること

> 5 段落

 何の例かを把握する

3. 自殺未遂した医師の例は何の例として書かれていますか。

> 5 段落

 非明示的な背景・意図を推測する (関連→CR2)

4. 下線部⑧は、自殺未遂した医師の例では、どこに表れていると考えられますか。テキストから抜き出さなさい。

> 6段落

原因と結果の関係を把握する

5. 筆者は下線部①のようなことがどうして起こると言っていますか。

_____から

> 全体

特定の情報のみを抽出する (関連→CR4)

6. 筆者が紹介している「一様な価値観」にはどのようなものがありますか。下線部に適当な言葉を書きなさい。

① _____が良い子であるという価値観

② _____が良い子であるという価値観

> 全体

全体の流れを把握する

明示的な主張・意図を把握する

原因と結果の関係を把握する

7. 教育についての筆者の問題提起をまとめなさい。

最近、価値観が[a. 多様 b. 一様]になってきたというが、[a. その通りだ b. そうは思えない]。現実を見ると、みんなが[a. 多様 b. 一様]な価値観を持っている。例えば、日本人すべてが、「『_____』を卒業し、『_____』に就職することが子どもの_____につながる」という考え方や、「_____はえらい」「_____なよい子が理想像」というような、「[a. 多様 b. 一様]な価値観」に縛られており、それが子どもたちの幸福を_____。

▶▶▶ クリティカル・リーディング

1. この文章はどのような読者を対象に書かれたものでしょうか。たとえば、次の人々はどうか吟味してみましょう。また、これ以外にも考えられるものを出してみましょう。

- ・ 思春期から青年期の子を持つ親たち
- ・ 教育関係者
- ・ 子どもの教育に関心を持つ幅広い人々
- ・

(関連→認知4)

2. 下線部⑧の「子どもを思う親の気持ち」が自殺未遂につながったというのは、どのような論理を筆者は想定していると考えられますか。その想定は妥当だと思いますか。

3. 筆者は価値の一様性を問題にしていますが、あなたはこの問題提起が妥当だと思いますか。

(関連→認知6)

4. 「勉強のできる子はえらい」「素直なよい子」の他に、子どもに望むこととして、どのような価値が考えられますか。

例) 「子どもは元気に外で遊ぶのがよい」「老人にやさしい子はえらい」など

5. この文章で言う「価値」「個性」「幸福」という言葉を、それぞれ、その言葉自体を使わずにパラフレーズしなさい。

価値 = _____

個性 = _____

幸福 = _____

6. ① この文章の結論を支える論拠の後ろには、どのような前提があると推測されますか。例に出した前提以外に、どんなものがありうるか考えてみましょう。

前提：(例) 親の価値観は子どもに決定的な影響を与える。

論拠：親が一様な価値観に縛られると、子どもの個性を見なくなり、個性に合わない大学や仕事を選ぶため、子どもは入学後や就職後に挫折し、不幸になる。

結論：親の一様な価値観は子どもの幸福を奪う。

- ② 筆者と異なる論拠によって、筆者と同じ結論に導くとすれば、どのような論拠が考えられますか。その場合の前提も考えてみましょう。

前提： _____

論拠： _____

↓

結論：親の一様な価値観は子どもの幸福を奪う。

- ③ 筆者と正反対の結論「親の一様な価値観は子どもを幸福にする」を導くには、どのような異なる前提が考えられますか。その場合の論拠も考えてみましょう。

前提： _____

↓

論拠： _____

結論：親の一様な価値観は子どもを幸福にする。

やわ
頭を柔らかくする

ふく がん
複眼

思考レッスン①

■ 一見似ていないものの中から共通点を持ったものを見つける練習です ■

○○なものを探せ！

◎条件に合うものを 30 個挙げる。

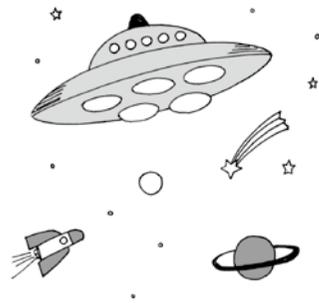
〈例〉「飛ぶもの」：ロケット、花火、タンポポの種、携帯の電波…

1. 「光るもの」：
2. 「お金の要らないもの」：
3. 「一日に何度も使うもの」：

他にもやってみよう！

ポイント

できるだけ違う種類のものを挙げる。



■ 監修者・編著者紹介 ■

監修者：コミュニケーション学院 学院長

奥田純子（おくだ じゅんこ）

編著者：コミュニケーション学院 学習リソース開発チーム

竹田悦子（たけだ えつこ）

久次優子（ひさつぎ ゆうこ）

丸山友子（まるやま ともこ）

八塚祥江（やつづか さちえ）

尾上正紀（おのえ まさのり）

矢田まり子（やだ まりこ）

（コミュニケーション学院ウェブサイト URL: <http://www.communica-institute.org>）

■ 語彙翻訳

中国語（簡体字）：于維強

中国語（繁体字）：羅慧茵、蔡宗榮

韓国語：林慧暎

英語：David Polen

■ 装丁

折原カズヒロ

■ レイアウト

市川麻里子

読む力 中上級

よ ちから ちゅうじょうきゅう

2013年3月21日 第1刷発行

[監修]

奥田純子
おくだ じゅんこ

[編著]

竹田悦子・久次優子・丸山友子
たけだ えつこ ひさつぎ ゆうこ まるやま ともこ
八塚祥江・尾上正紀・矢田まり子
やつづか さちえ おのえ まさのり やだ まりこ

[発行]

くろしお出版

〒113-0033 東京都文京区本郷3-21-10
Tel: 03・5684・3389 Fax: 03・5684・4762
URL: <http://www.9640.jp> Mail: kurosio@9640.jp

[印刷]

シナノ書籍印刷

© 2013 Junko Okuda, Etsuko Takeda, Yuko Hisatsugi, Tomoko Maruyama, Sachie Yatsuzuka, Masanori Onoe, Mariko Yada

Printed in Japan

ISBN 978-4-87424-584-2 C0081

乱丁・落丁はお取り替えいたします。本書の無断転載・複製を禁じます。

著作権保護コンテンツ